

最近の JR 東日本 何かおかしくくないですか？

安全も公益も
利用者の声も
現場の悲鳴も

すべて 軽視!



「みどりの窓口」削減凍結は

あくまでも一時的な対応

「みどりの窓口」の削減計画は多くの方にご不便をおかけしたことから一時的な凍結を発表したものの“シームレスでストレスフリーな移動を実現する”という基本方針である削減計画は一切変わっていません。

京葉線ダイヤ改正に表れた

利用者の視点を欠いた押し付け

列車の混雑率の平準化を理由に通勤快速を廃止し、利用率の高かった快速までも減便した京葉線は、利用者の求めるサービスの充実を図らずに利便性を軽んじた JR 目線でのサービスの押し付けであったことが露呈しました。



駅から時計を撤去

スマホ普及を理由に



駅のトイレを閉鎖

日常的なニーズ軽視



システムのプロが消滅

キャリアビジョン描けず

「新たなジョブローテーション」という人事・要員施策によりシステムのプロが減り、キャリアビジョンを描けない人事異動が高頻度化し、やりがい・働きがい喪失させられています。

コストカット重視で“安全の確保”も“公益性”も
“利用者への配慮”も大きく低下していませんか？